

Topics 1 教職員の皆様へ

● 教育委員退任のご挨拶



平成20年から8年間に亘り教育委員をさせて頂きました。この間、高知県の教育レベルは確実に向上したと実感するところですが、まだまだ多くの課題があることも事実です。昨年度、教育委員会制度も大きく変わり、教育委員に求められる役割も変わりましたが、教育大綱を基本とし、高知県教育界全体を如何に盛り上げ、活性化させるかが重要だと考えます。一方で、経営者として学生を受け入れる立場として、人材育成は企業にとっても終わりが無い課題であり、その難しさも実感しているところです。

これからの社会は、第4次産業革命をはじめとして、益々グローバル化し、多様な価値観と向き合う時代を迎えます。変化の激しい時代になればなるほど人材育成が重要となり、何が正しいのかということ自分の頭で考え、判断し、行動する人間でなければ通用しない時代となります。そういった視点を常に持った教育が必要だと考えます。様々な課題がある中で常に前を向いて未来志向で行動する教育委員会であることを願っております。長い間大変お世話になりました。

前高知県教育委員 久松 朋水

● 教育委員就任のご挨拶



はじめまして、久松朋水氏の後任として教育委員に任命された木村です。民間、経済界からの登用ということで、教育現場の経験はまったくありません。皆様方からのご指導をお願いいたします。

さて、今、高知県では学力やいじめ、子どもの問題行動といったことが取り沙汰されていますが、そもそも教育の本来の目的は、子どもたちを健全に成長させ、社会に役に立つ人間を育てていくことだと思っています。すべての子どもたちがその個性に応じて、成長し、社会の一員として地域や日本、世界に貢献していくためのものです。

私は、5年程前に、GKH (Gross Kochi Happiness) 高知県民総幸福度を指標化し、その向上を図ろうという提案をしました。これは高知県の活性化の為に、経済同友会の代表幹事として提言をした土佐的循環型、共生社会の実現をめざした10年ビジョンです。

人の幸福は概念的なものではありますが、やりがいや希望があり、安全で安心して暮らすことができ、地域社会での絆や、さらには人と人のみならず、自然や環境とも持続的に共生していける社会で生きられることだと考えています。

そういう高知ならではの循環型・共生社会を築いていくための根幹を成すものは、まさに高知県の教育であり、希望となるものであると考えています。

はなはだ未熟ではございますが、教育に関わる諸問題に真剣に取り組んでいく覚悟ですので、よろしくお願いいたします。

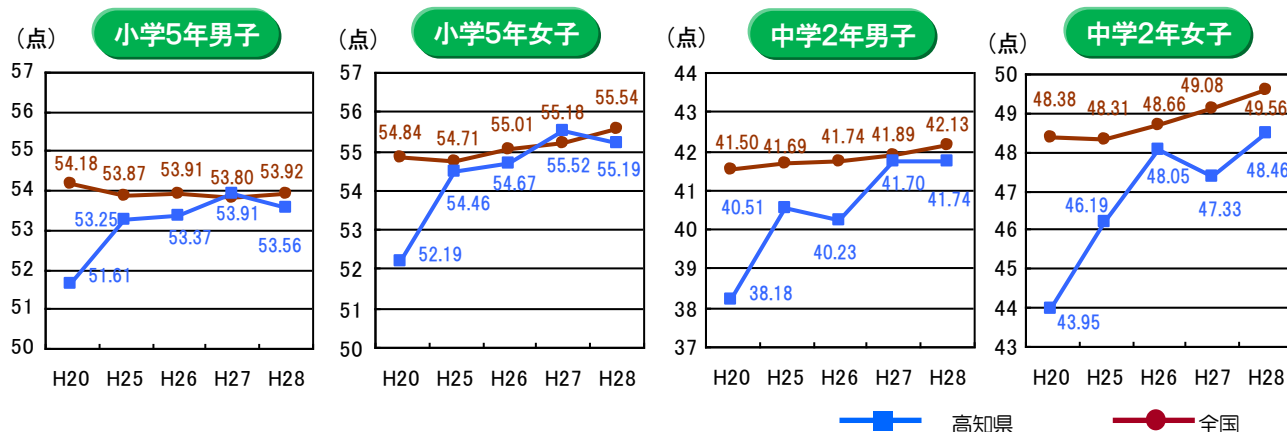
高知県教育委員 木村 祐二

■中学校では体力合計点が過去最高となり、小・中学校ともに体力は上昇傾向

小・中学校の体力・運動能力について、平成 28 年度の全国調査の結果では、小学校では体力合計点が男子は全国平均を 0.36 ポイント、女子は 0.35 ポイント下回り、過去最高であった昨年度からやや後退する結果となりましたが、過去の調査の中で 2 番目に高い結果となっています。中学校では、体力合計点が男子は全国平均を 0.39 ポイント、女子は 1.1 ポイント下回る結果となりましたが、女子は昨年度の結果を 1.13 ポイント上回り、男女ともに過去の調査の中で最も高い結果となっており、全体的に体力は上昇傾向にあります。



全国体力・運動能力、運動習慣等調査 本県児童生徒の体力合計点の推移

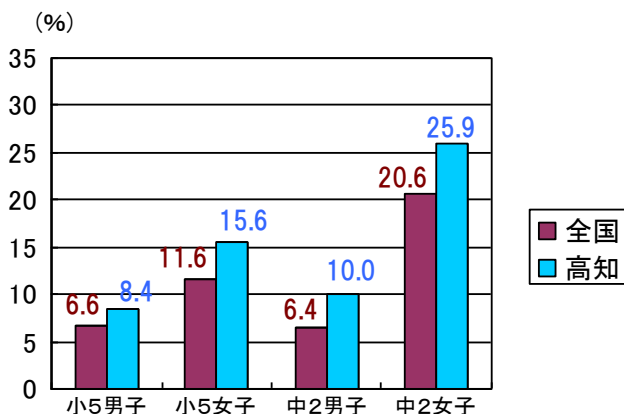


■運動習慣を定着し、さらなる体力向上を目指す！

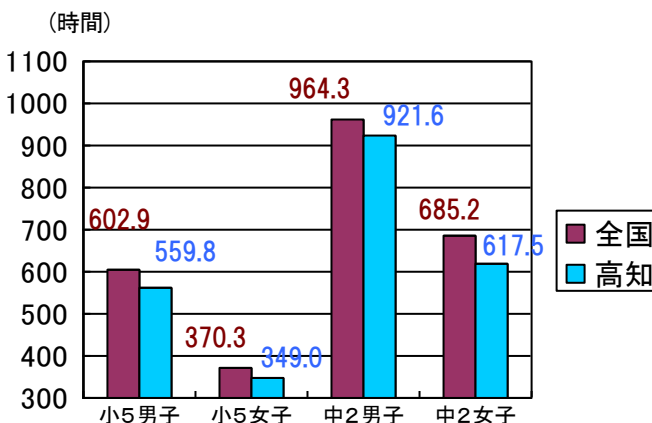
「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は、昨年度の結果と比較すると、小学校は男女とも少し高くなっており、中学校は改善傾向が見られます。しかし、全国平均との比較では、小・中学校ともにその割合は高く、さらに、「体育・保健体育の授業以外での1週間の総運動時間」についても全国平均と比べて少ない状況が見られ、児童・生徒の運動習慣は十分に定着しているとはいえません。

児童・生徒の運動習慣の定着は、本県の将来を担う子どもたちの健やかな成長に不可欠であり、体育授業の質的向上や運動部活動の充実を図り、子どもたちの体力のさらなる向上を目指して取り組んでいきたいと思えます。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合



学校の体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間



● 地域全体で子どもたちを見守り育てる体制づくりの取組について

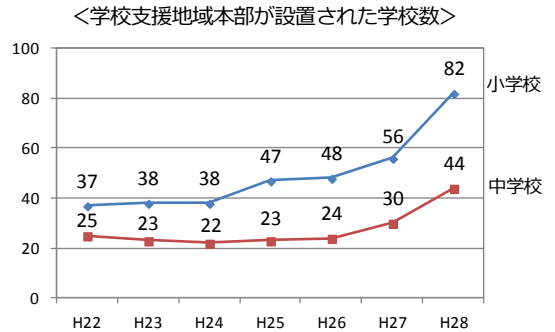
「支援（学校支援地域本部）」から「連携・協働（地域学校協働本部）」の取組へ

県では、これまで地域と学校をつないでいただく「地域コーディネーター」を中心に、地域の皆様や豊富な社会経験を持つ方々にご協力いただき、登下校時の声かけや交通安全指導をはじめ、本の読み聞かせや学習支援、部活動支援など、様々な学校支援活動を行う「学校支援地域本部」の設置や活動内容の充実に取り組み、地域全体で子どもたちを見守り育てる体制づくりを推進してきました。

地域と連携した取組を通じて、子どもたちと地域の方が顔見知りになり、学校の外でも声をかけあえる関係ができ、子どもたちは、見守られている、応援してくれる人がいると思うことで自己肯定感や意欲が増し、郷土愛も育っています。また、学校からは、地域の方がコーディネートしてくださることで、教職員では探しきれなかった新たな人材が加わり、教育活動の幅が広がったという声も聞かれます。

第2期高知県教育振興基本計画では、平成31年度までに学校支援地域本部を小学校150校以上、中学校80校以上に設置する目標を掲げており、現在、67本部134校（うち、保・幼6園、小・中126校、県立高校2校）が設置されています。平成29年度には、102本部183校へとさらに設置を広げるとともに、活動内容の充実に取り組みでまいります。

学校支援地域本部の設置等により、地域と学校との連携体制が整ってきていますが、厳しい環境にある子どもたちの見守り体制の強化や生徒指導上の諸問題解決に向け、今以上の地域からの協力を得るためには、より多くの幅広い層の地域住民や団体等に、より主体的に地域の子どもの育ちに関わっていただく形をつくるなど、学校支援地域本部の活動を充実・強化することにより、地域と学校がパートナーとして子どもたちを見守り育てる「地域学校協働本部」の活動を目指していく必要があります。今後とも、地域との連携・協働に向けた取組に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



問い合わせ 生涯学習課 学校・地域連携支援担当 088-821-4897

高知県社会教育実践交流会について

様々な地域課題の解決や、人と人との関係が密な地域づくりをめざして、関係者の活動の活性化と、関係者間のネットワークを築いていくための交流会です。初開催の昨年度は社会教育関係者が一堂に会し、196名が実践事例に学び交流を深め、「今後の活動のヒントになった」など、参加者の多くにも好評でした。本年度は社会教育関係団体の代表者で実行委員を組織し、より充実した実践につながる交流会となるよう準備を進めてきました。社会教育に関心のある方ならどなたでも参加できます。当日参加も受け付けておりますので、是非お越しください。

日 時	平成29年2月25日(土) 10:00~16:00
会 場	高知大学物部キャンパス(南国市物部乙200)
講 演	演 題「人づくりによる地域づくり」 ～学校と地域の協働による魅力ある教育を目指して～ 講 師 島根県教育魅力化特命官 岩本 悠 氏
テーマ別実践発表	
第1分科会	テーマ：【体験活動と読書活動】 『私たちの子ども会』、『生活にとけこんだ図書館～小さな図書館の取り組み～』
第2分科会	テーマ：【公民館と地域連携】 『横富西部公民館の活動について』、『ぐるみ教育と公民館活動』
第3分科会	テーマ：【女性と若者の活躍】 『四万十川ウルトラマラソン』、『50周年と成人式』
第4分科会	テーマ：【PTA活動と学校・家庭・地域の連携】 『学校教育とPTA活動』、『家庭・地域と連携した食育の取り組み』

問い合わせ 生涯学習課 社会教育支援担当 088-821-4911

高知県立高知国際中学校・高等学校の学校説明会のお知らせ

国際バカロレア（IB）の認定校を目指している高知県立高知国際中学校・高等学校が、平成30年4月に開校します。この学校についての説明と、IB教育や、大学入試改革とIBとの関係の講演を下記のとおり実施します。ぜひ、ご来場ください。

講演Ⅰ

「教育改革で何が変わるのか？ ～中高での学習で意識したいこと～」

講師：株式会社ベネッセコーポレーション ^{なんぶ}南部 ^{あきつ}現 氏

「教育改革で何が変わるのか？」ということを中心に、グローバル社会の中で、どのような力を育成することが教育に求められているか、これからの中学校や高等学校の学習で意識したいことは何かをご講演いただきます。

講演Ⅱ

「国際バカロレアの概要 ～世界と日本～」

講師：国際バカロレア機構アジア太平洋地区委員

^{つぼや}坪谷 ^{いくこ}ニューエル郁子 氏

グローバル人材の育成とはどのようなものか。国際バカロレアではどのような教育をするのかといったことを、ご講演いただきます。

学校説明・質疑

学校の教育内容や入学定員について、教育委員会（高等学校課）から説明します。

高知県立高知国際中学校・高等学校 学校説明会 開催のご案内

平成29年**2.26**日 13:00~15:40 (受付12:30~)

国際バカロレアって何？

英語ができないと入学できないの？

他の公立中学校・高校よりお金がかかるの？

国際バカロレアを学んで日本の大学に入れるの？

**本説明会に
具体的に
わかります！**

説明会会場
高知追手前高等学校
(高知市追分)

当日スケジュール

12:30~13:00 受付
13:00~13:10 開会行事
13:10~13:40 講演Ⅰ

**「教育改革で何が変わるのか？」
～中高での学習で意識したいこと～」**

講師/講師 現氏
株式会社ベネッセコーポレーション 高校授業部
営業企画課 課長 行政事業プロジェクトリーダー

13:40~14:10 講演Ⅱ

**「国際バカロレアの概要
～世界と日本～」**

講師/坪谷ニューエル郁子氏
国際バカロレア機構
アジア太平洋地区委員

15分間 休憩
14:25~15:30 学校説明・質疑

教育内容等について
(高知県教育委員会事務局高等学校課)

15:30~15:40 閉会行事

お問い合わせ先 高知県教育委員会事務局高等学校課(国体・物産、課本) 〒780-0850 高知市内1丁目7番52号 TEL:088-821-4542
E-mail: 300401@kochinet.ac.jp ホームページ: http://www.pref.kochi.jp/soshiki/311701/

主催/高知県教育委員会

【開催日時】

平成29年2月26日(日) 13:00~15:40
12:30~13:00 受付
13:00~13:10 開会行事
13:10~13:40 講演Ⅰ
13:40~14:10 講演Ⅱ
15分休憩
14:25~15:30 学校説明・質疑
15:30~15:40 閉会行事

【開催場所】

県立高知追手前高等学校(芸術ホール)

【参加費】

無料

【申込期間】

平成29年2月6日(月)8時30分~

16日(木)17時(必着)定員に達し次第終了します。

【申込方法】

高等学校課ホームページの「申込フォーム」、または参加申込書(チラシ裏面)をFAX・郵送でご提出ください。
(高等学校課ホームページ)

<http://www.pref.kochi.jp/soshiki/311701/>

【定員】

参加者：先着500名(要申込)
託児：先着30名程度(要申込)

行事予定 (2月、3月の主なもの)

2月

4日 高知県高等学校PTA連合会功労者表彰式・第3回研修会 (高知会館 13:30~)
しばてん大学(学校支援地域本部事業ブロック別研修会) (のいちふれあいセンター 13:30~)
10日 平成28年度高知県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会(高知会館 13:00~)
平成28年度学校保健総合支援事業報告会 (高知城ホール 13:30~)
17日 平成28年度英語教育推進プロジェクト事業連絡協議会 (高知会館 9:20~)
19日 高知龍馬マラソン2017(春野運動公園 他 終日)
21日 第3回高知県いじめ問題対策連絡協議会 (ザクラウンパレス新阪急高知 13:30~)

問い合わせ 高等学校課 再編振興担当 088-821-4542

3月

25日 平成28年度社会教育実践交流会 (高知大学物産キャンパス 10:00~)
26日 平成28年度高知県児童生徒表彰 表彰式 (高知市文化プラザかるぼと 13:30~)
高知県立高知国際中学校・高等学校の学校説明会 (高知追手前高等学校芸術ホール 13:00~)
4日 こうちの子ども健康・体力づくりフォーラム2017 (高知市文化プラザかるぼと 9:40~)
30日 平成28年度長期勤続者に対する退職辞令の交付と感謝状の贈呈式(高知会館 14:30~)

<発行者>

高知県教育委員会事務局教育政策課
(TEL)088-821-4731 (FAX)088-821-4558 (E-mail)310101@ken.pref.kochi.lg.jp

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。
教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

